

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

基本方針

トータルセキュリティネットワークの構築を通じ、警備事業で社会に「安心・安全」を提供

売上高
12,260百万円

営業利益
880百万円

営業利益率
7.18%

資格保持者比率
8割

② 中長期の経営戦略

1. システム革新

グループ内のデジタル化推進。警備業務・人事給与・会計システムの
新システムを8社で本稼働、将来的にグループ全社展開

2. 営業手法の革新

ソリューション型営業で問題解決提案を実践。新事業機会創造と事
業領域開拓に取組み

3. M&A推進

警備事業の相乗効果があり、グループ全体の成長に資する案件に積
極的に対応

4. エリア戦略

警備事業の空白地域へ積極的に拠点を拡大

③ 対処すべき課題

① 人手不足・人材確保

- ・ ハローワーク・学校訪問・求人媒体活用で積極募集
- ・ 警備員教育徹底と資格取得推進で競争力向上

② 物価・人件費上昇対応

- ・ 得意先への継続的な受注単価交渉
- ・ 高付加価値営業で高収益性受注の獲得

③ 遵法・品質・財務

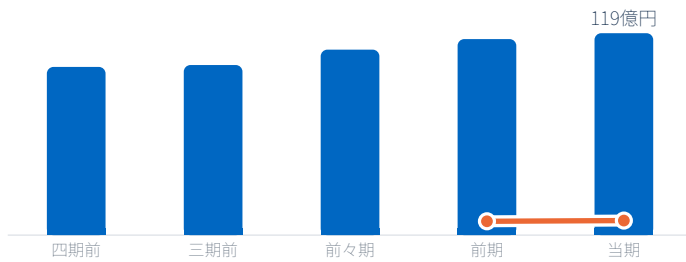
- ・ 警備業法遵守と遵法意識の社内浸透推進
- ・ 競合他社との差別化で警備品質向上
- ・ 本業の収益力向上で安定財務基盤確立

面接で使えるポイント

- ・ 創業50周年の2027年3月30日に向け、VISION for 50で6年間の重要期間と捉えた成長戦略を展開
- ・ DXで警備業務・人事給与・会計システムをグループ8社で本稼働、デジタル化推進中
- ・ 警備員の8割を資格保持者とする体制構築で、同業他社との差別化を実現

証券コード 4754

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
警備業を主力事業とする上場企業

主力事業・セグメント

- ・ Guard 85.7%
- ・ 電力Supply 9.7%
- ・ Mailingサービス 3.0%

強み・特徴（公開データから）

- ・ 財務健康度71点と財務基盤が健全

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
119億円営業利益率
7.2%財務健康度
71点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 39.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
302万円

サービス業内 523位/524社

平均年齢
41.58歳

サービス業内 147位/527社

平均勤続
10.02年

サービス業内 135位/527社

女性管理職
3.4%

サービス業内 350位/371社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

